



# 平成30年3月期 第2四半期 決算説明会資料

---

平成29年11月20日

株式会社 **ユニアット** リタイアメント・コミュニティ

(東証JASDAQ : 9707)

# 目次

---

1	平成30年3月期 第2四半期決算概要 .....	2
2	介護事業 主要サービス報告 .....	7
3	業界動向 .....	19
4	新たな取組み.....	24
5	安心して働ける環境への取組み.....	31
6	平成30年3月期 通期業績見通し .....	34
7	お知らせ .....	39



## 平成30年3月期第2四半期 決算概要

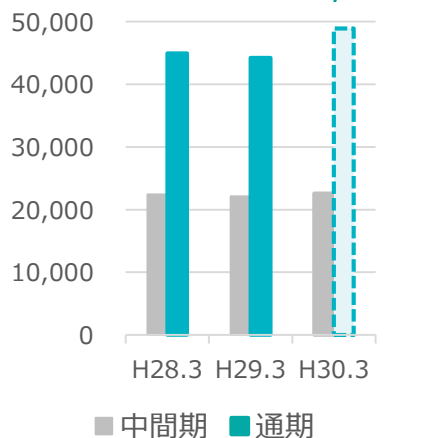
---

# 業績サマリー

平成30年3月期 第2四半期累計 (連結)

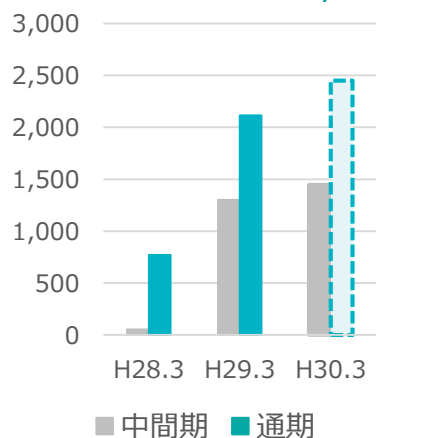
## 売上高

22,597 百万円  
通期修正予想  
48,900



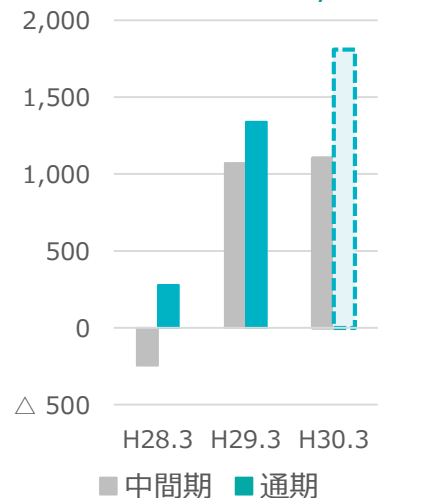
## 営業利益

1,446 百万円  
通期修正予想  
2,450



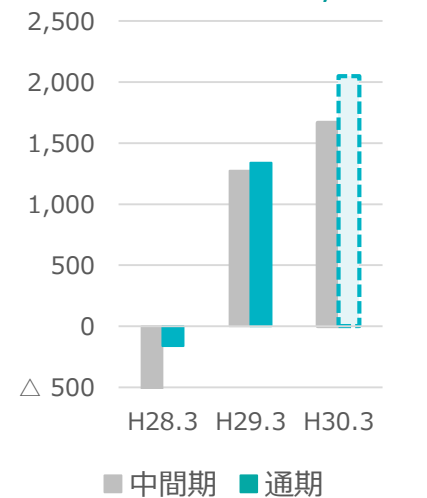
## 経常利益

1,103 百万円  
通期修正予想  
1,810



親 会 社 株 主 に  
帰 属 す る  
四 半 期 純 利 益

1,664 百万円  
通期修正予想  
2,050



## 業績状況

- 全ての項目において前年同期を大きく上回る

# 損益計算書

平成30年3月期 第2四半期累計（連結）

（単位：百万円）

	平成30年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	増減額
売上高	22,597	22,118	479
売上原価	19,198	19,140	58
売上総利益	3,399	2,978	421
販売費及び一般管理費	1,953	1,677	275
営業利益	1,446	1,300	145
経常利益	1,103	1,071	31
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,664	1,273	390
1株当たり四半期純利益	193.56円	162.45円	31.11円

## 業績状況

- 介護事業は、それぞれのサービスにおける利用者数が順調に増加
- 平成29年度の介護報酬改定で拡充された、介護職員処遇改善加算の「加算Ⅰ」を算定
- 継続して取組んでいるコスト削減の効果に加え、投資有価証券売却益を計上したことで営業利益以下各区分利益において前年同期比増

# 貸借対照表

平成30年3月期 第2四半期（連結）

（単位：百万円）

	平成30年3月期 第2四半期末	平成29年3月期 期末	増減額	主な増減要因	
流動資産	<b>16,762</b>	14,734	2,027	現金及び預金	2,228
固定資産	<b>27,064</b>	29,322	△2,258	有形固定資産	△570
				差入保証金	△1,111
資産合計	<b>43,827</b>	44,057	△230		
流動負債	<b>7,386</b>	7,303	82	1年内返済予定の 長期借入金	457
				その他	△313
固定負債	<b>22,519</b>	24,209	△1,690	長期借入金	△655
				長期預り保証金	△953
負債合計	<b>29,905</b>	31,512	△1,607		
株主資本	<b>13,832</b>	12,288	1,543	親会社株主に帰属する 四半期純利益 配当	1,664
					△120
その他の包括利益累計額	<b>89</b>	256	△167		
純資産合計	<b>13,921</b>	12,544	1,376		
負債純資産合計	<b>43,827</b>	44,057	△230		
自己資本比率	<b>31.8%</b>	28.5%	3.3ポイント		
1株当たり純資産	<b>1,619.03円</b>	1,458.91円	+160.12円		

# CF計算書

平成30年3月期 第2四半期 (連結)

(単位：百万円)

	平成30年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	増減額	主な項目	
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>1,558</b>	801	756	税金等調整前四半期純利益	1,775
				減価償却費	626
				事業譲渡益	△497
				売上債権の増加額	△412
投資活動によるキャッシュ・フロー	<b>1,131</b>	△ 188	1,320	事業譲渡による収入	1,393
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ <b>461</b>	953	△1,414	長期借入れによる収入	1,050
				長期借入金の返済による支出	△1,298
現金及び現金同等物の期末残高	<b>7,351</b>	3,746	3,604		

- 営業活動によるCF：主に税金等調整前四半期純利益によるもの
- 投資活動によるCF：主に事業譲渡による収入によるもの
- 財務活動によるCF：主に借入れの返済によるもの

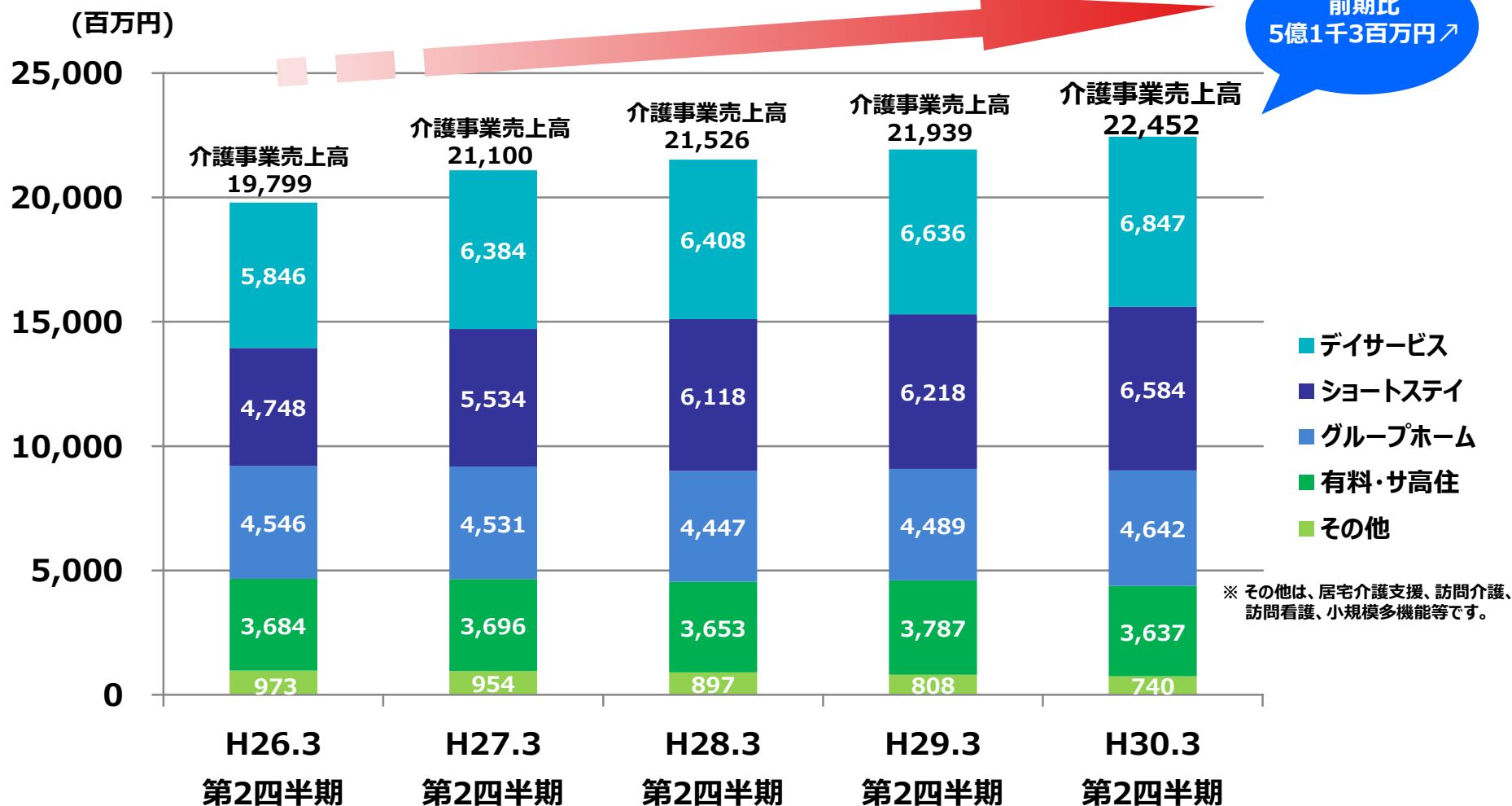


## 介護事業 主要サービス報告

---



# 主要サービス別売上高



■ 有料老人ホーム&サ高住は、アクティバ琵琶の売却により前年同期を下回るも、デイサービス、ショートステイ、グループホームにおいて前年同期を上回ったことで介護事業売上高も増加

# デイサービス

## 売上高 第2四半期（累計）

(百万円)

7,000

6,800

6,600

6,400

0

前年同期比  
211百万円増 (3.2%) ↗

6,636

前年実績

平成29年3月期  
第2四半期

6,847

実績

平成30年3月期  
第2四半期

事業所数	平成29年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期
	194	190

(人)

## 延べ利用者数

760,000

740,000

720,000

0

前年同期比  
14,639人増 (2.0%) ↗

744,340

前年実績

平成29年3月期  
第2四半期

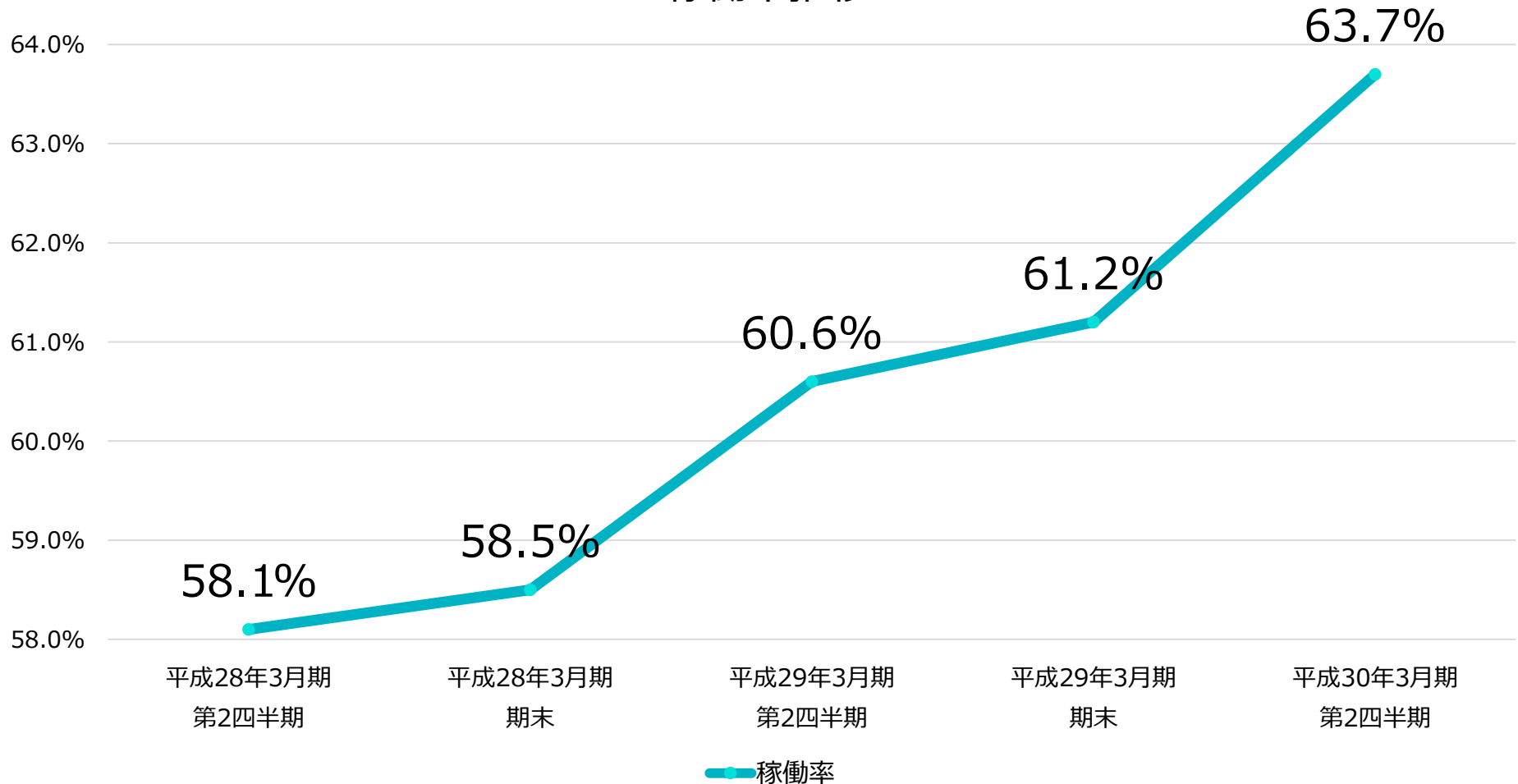
758,979

実績

平成30年3月期  
第2四半期

# デイサービス 稼働率推移

## 稼働率推移

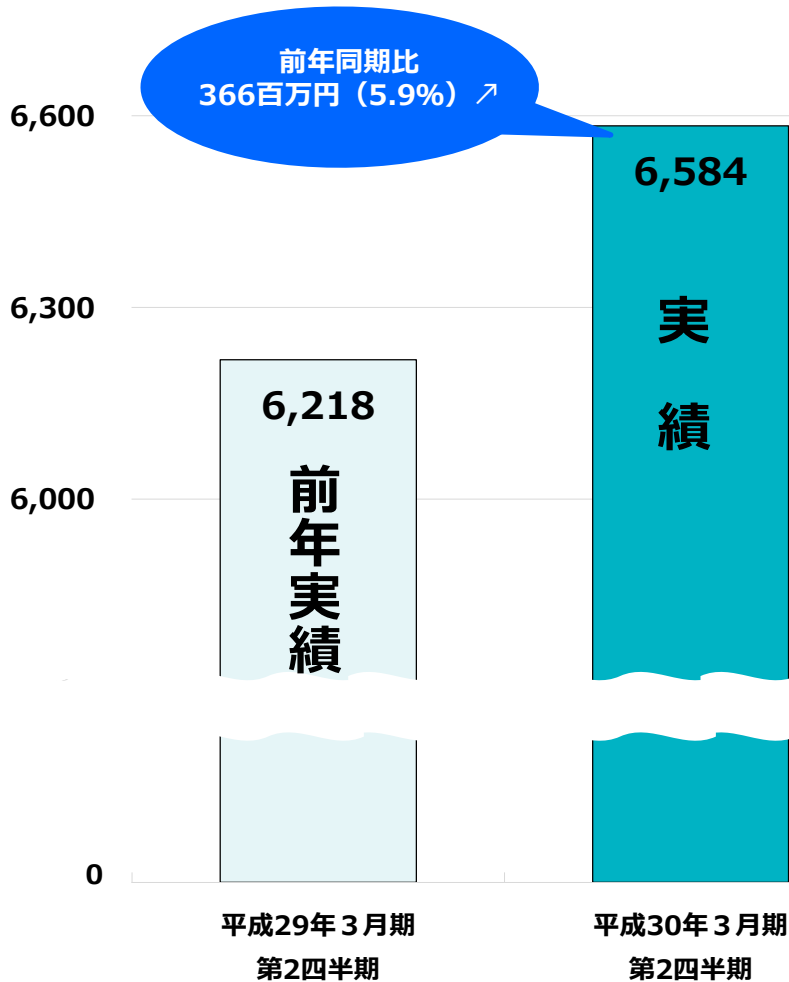


■ サービスの充実により、利用を中止される方々が減少し、繰り返し通ってこられる『リピーター』が増加

# ショートステイ

## 売上高 第2四半期（累計）

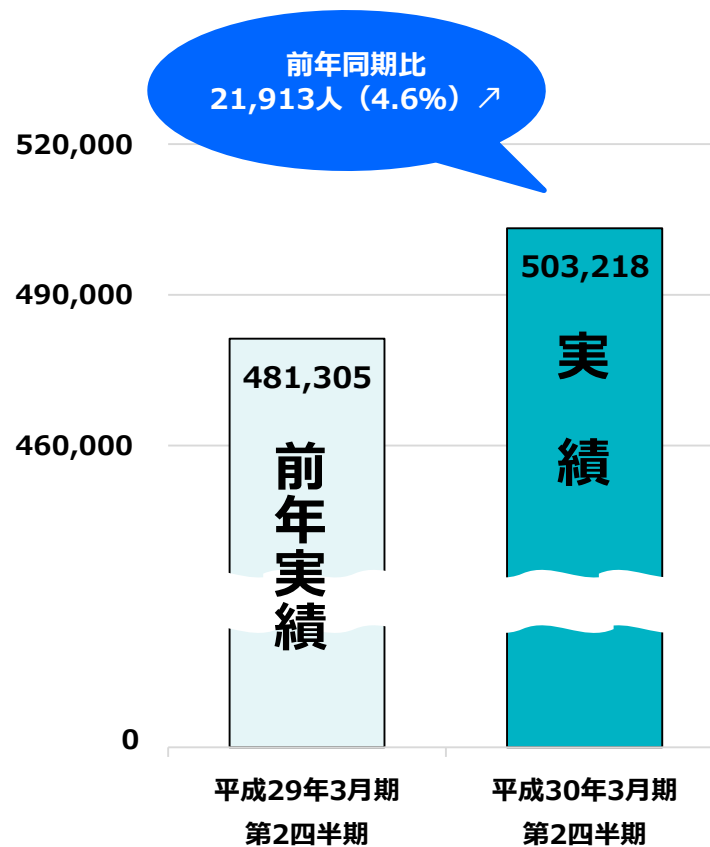
(百万円)



事業所数	平成29年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期
	136	136

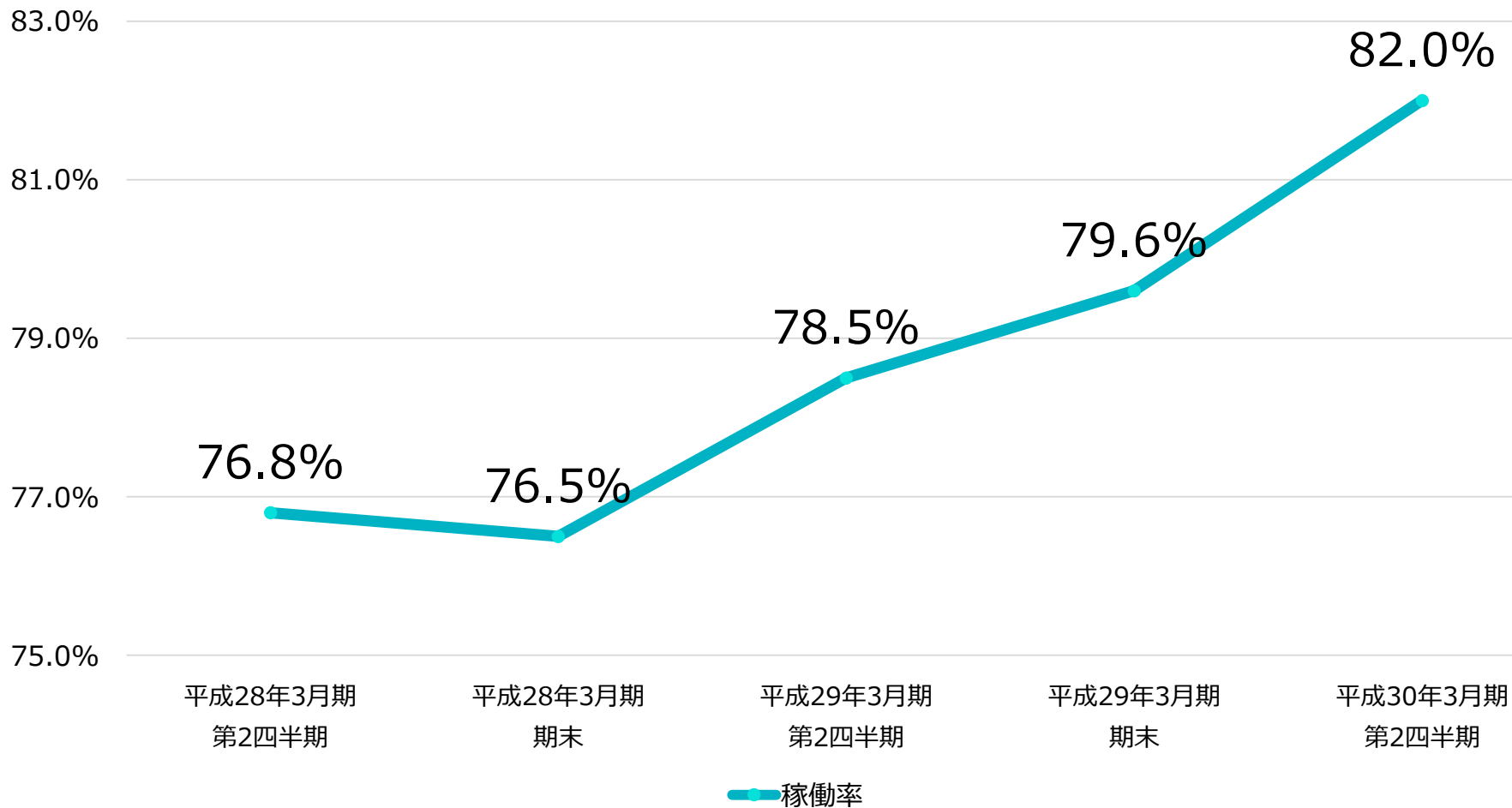
## 延べ利用者数

(人)



# ショートステイ 稼働率推移

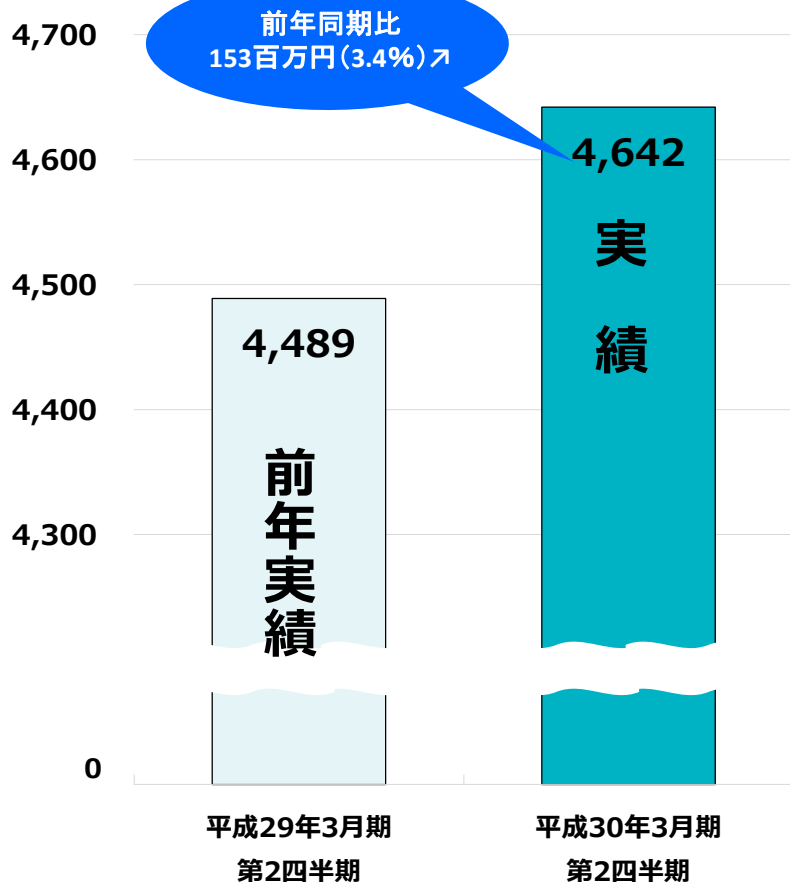
## 稼働率推移



■ 5,400名を超える新規顧客を獲得すると同時に、予約の管理を徹底したことで安定して高い稼働率を維持

## 売上高 第2四半期（累計）

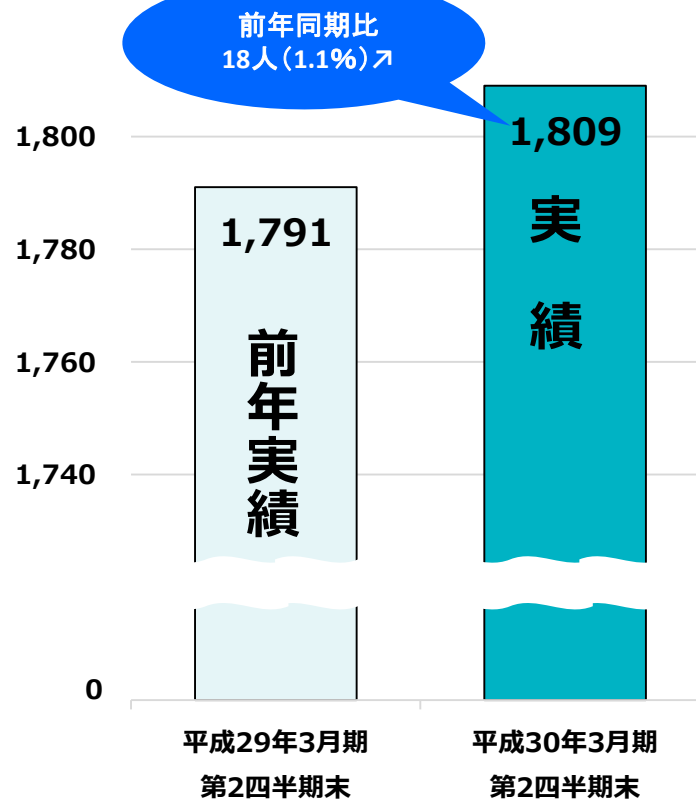
(百万円)



事業所数	平成29年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期
	104	106

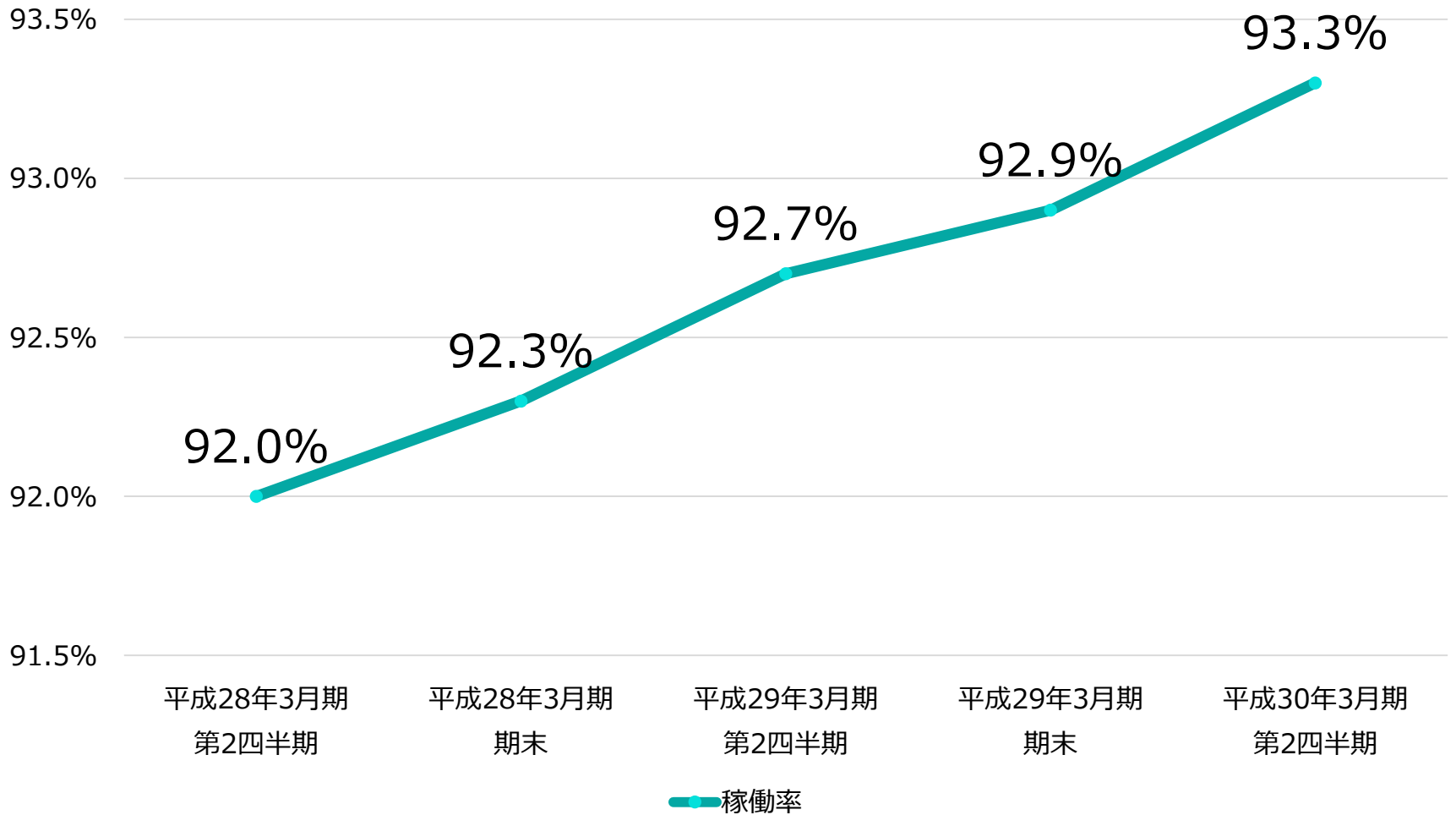
## 入居者数

(人)



# グループホーム 稼働率推移

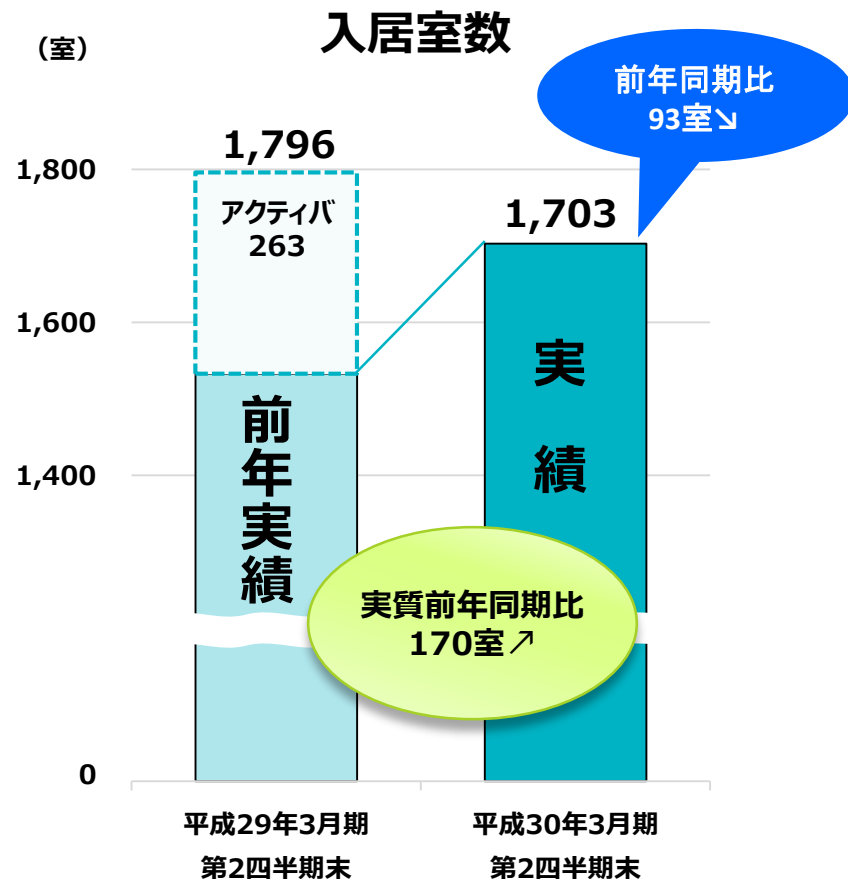
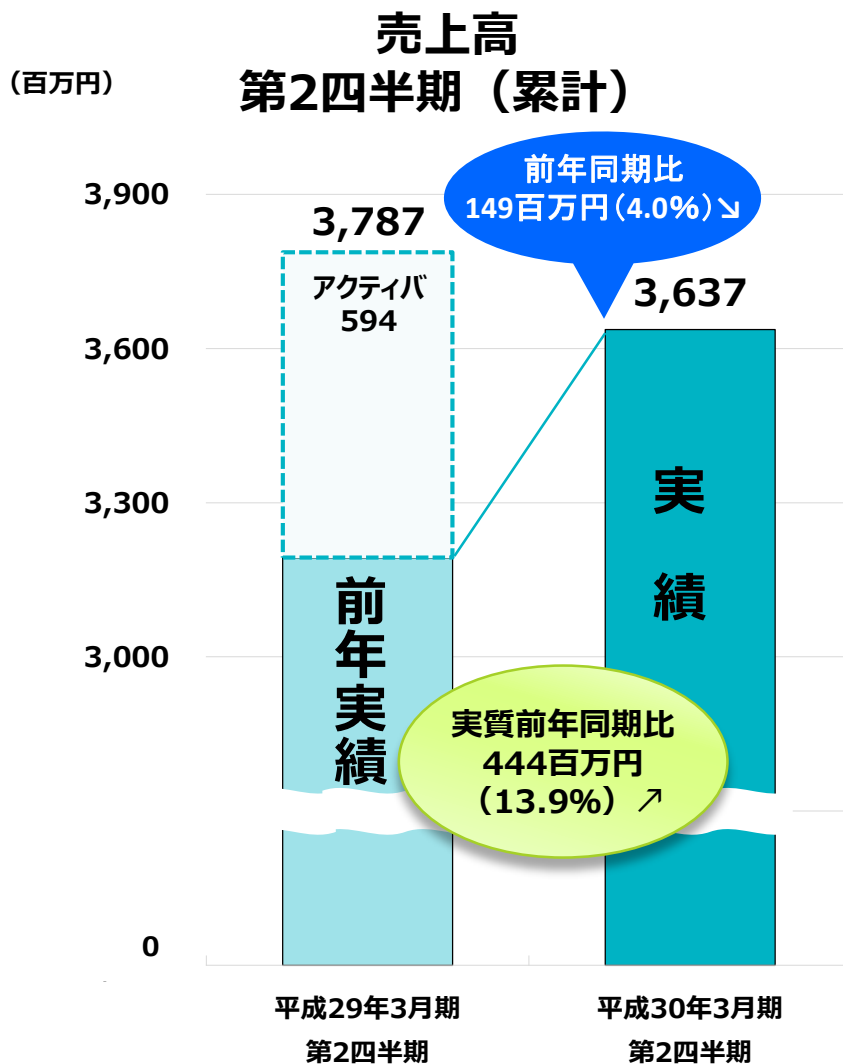
稼働率推移



■ 高い水準で安定的に推移

# 有料老人ホーム&サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）

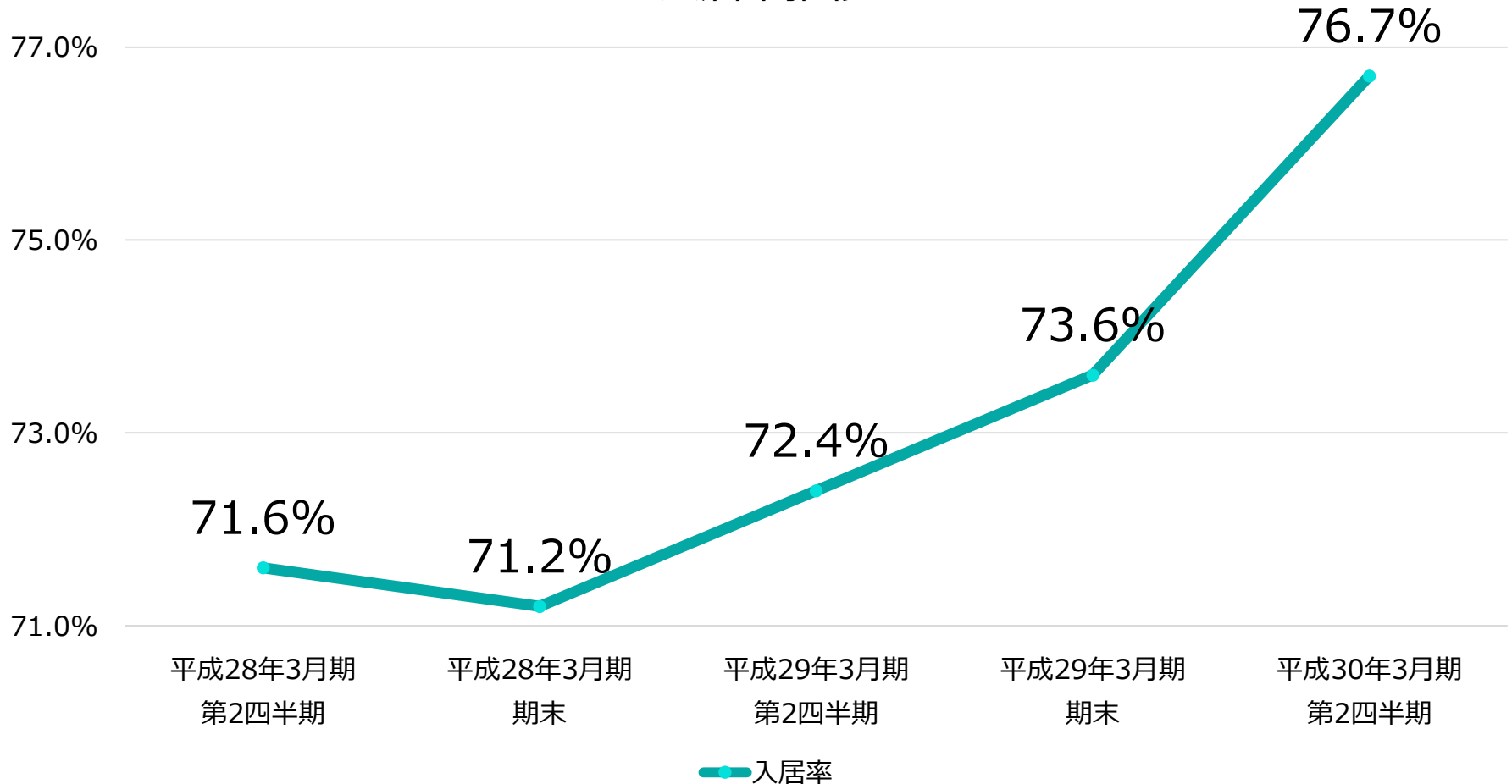
事業所数	平成29年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期
	49	52





# 有料老人ホーム&サービス付き高齢者向け住宅 入居率推移

## 入居率推移



- 入居相談員を大幅に増員し、営業力の増強を図るとともに、「コンタクトセンター」「紹介会社」「各拠点の担当者」の連携の強化により、問い合わせ→見学→成約までの流れがスムーズに

# 平成30年3月期上期 新規開設事業所一覽

## 平成29年4月～平成29年9月 開設事業所

開設期	No.	事業所名	所在地	OPEN	サービス
第1四半期	1	交樂 森ノ宮	大阪府	H29.4.1	有料
	2	南上尾GH	埼玉県	H29.4.1	GH
第2四半期	3	かわさき柿生GH	神奈川県	H29.9.1	GH
	4	NANAIRO COOKING STUDIO成城	東京都	H29.9.1	DS

【事業所名】 GH：グループホームそよ風

【サービス内容】 DS：デイサービス GH：グループホーム 有料：有料老人ホーム



業界初！料理体験型デイサービス 第2号店  
「NANAIRO COOKING STUDIO成城」  
平成29年9月1日 OPEN

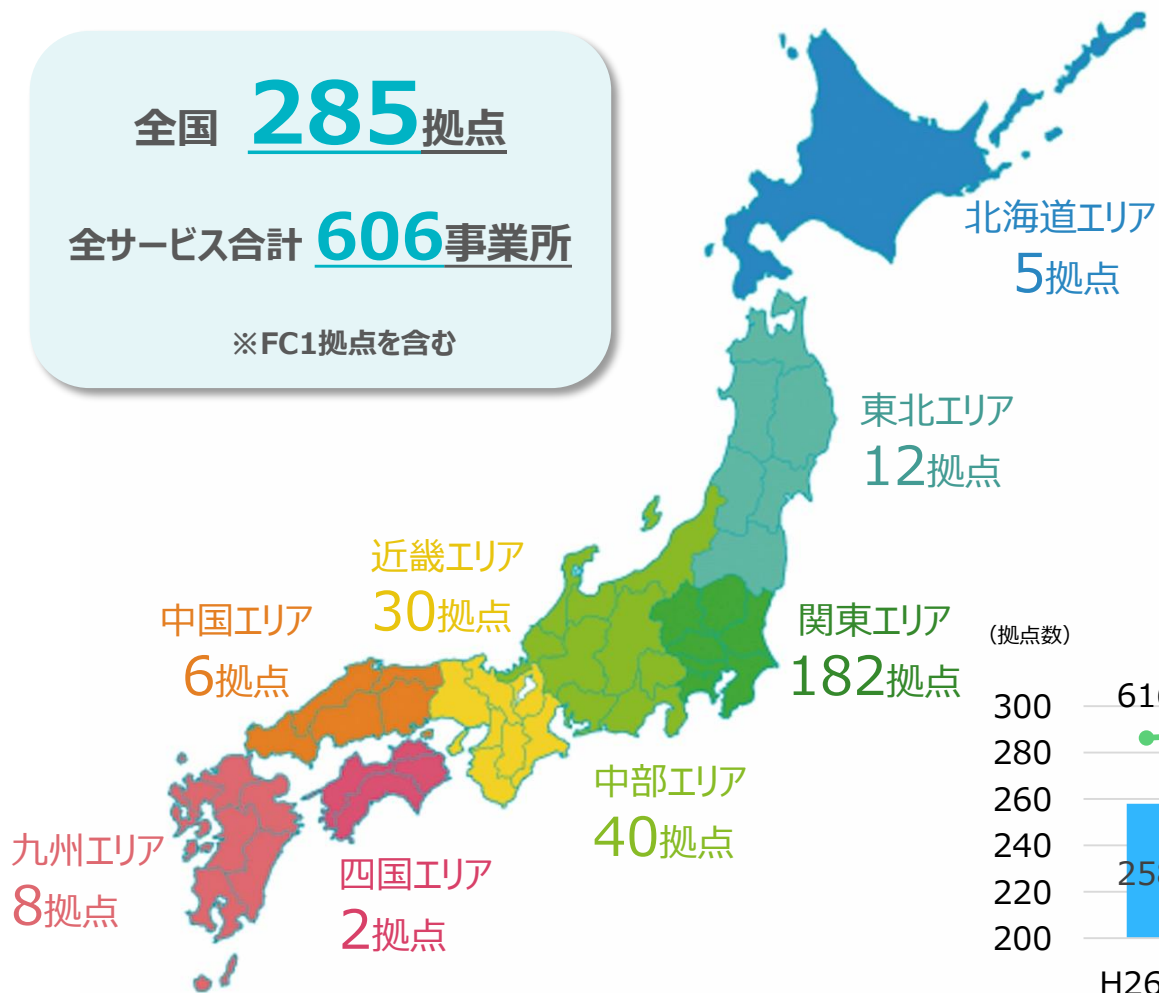
# 拠点数の推移・エリア分布

平成29年9月末時点

全国 **285**拠点

全サービス合計 **606**事業所

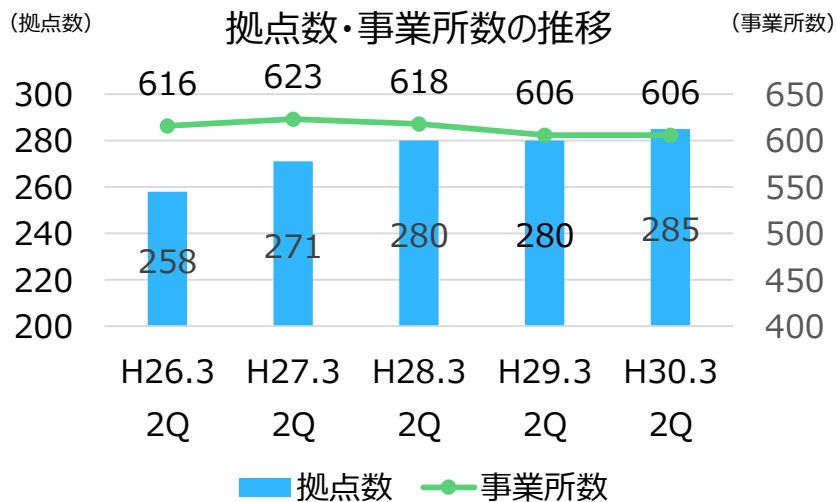
※FC1拠点を含む



サービス別事業所数

サービス名	事業所数
デイサービス	190
ショートステイ	136
グループホーム	106
有料老人ホーム	39
サービス付き高齢者向け住宅	13
訪問介護	19
居宅介護支援	101
その他	2

合計 606





## 業界動向

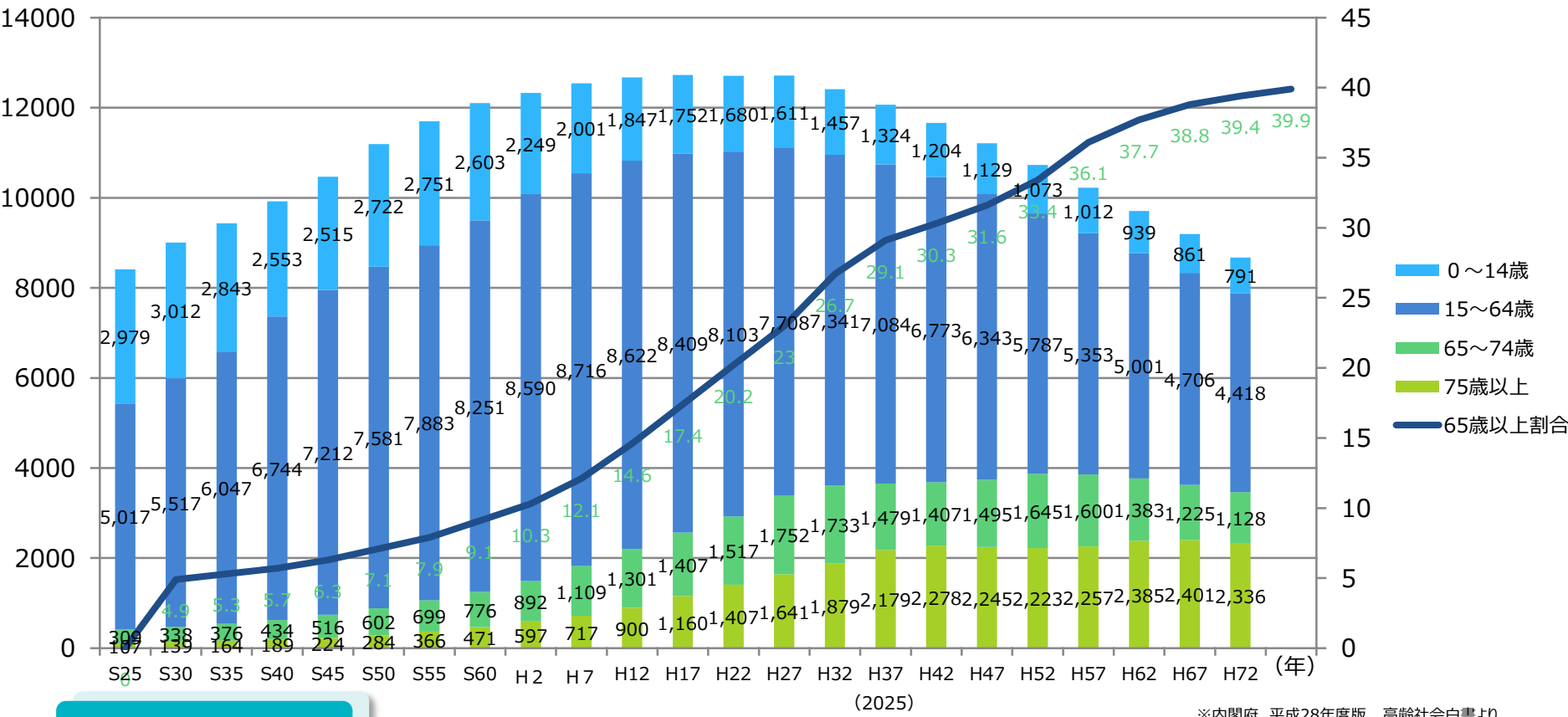
---

# 業界動向

## 高齢者人口の推移

単位 (万人)

単位 (%)



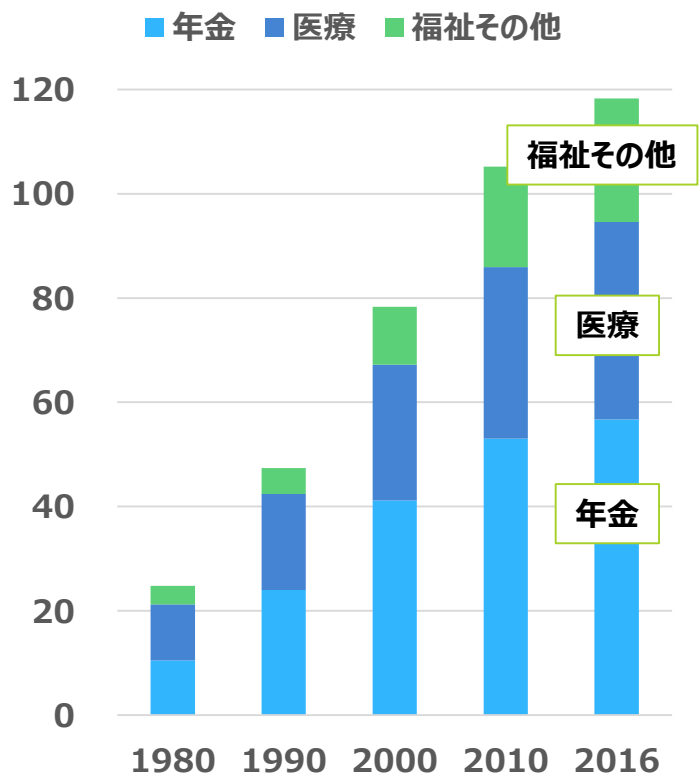
※内閣府 平成28年度版 高齢社会白書より

### 日本の高齢者人口

- 日本の総人口は概算で1億2,667万人 (平成29年9月1日現在 総務省統計局「人口推計」より)
- 65歳以上の高齢者人口 3,489万人、高齢化率27.7% (平成29年9月1日現在 総務省統計局「人口推計」より)
- 介護保険認定者数 約629.2万人 (平成29年1月末現在 厚生労働省 介護保険事業状況報告の概要より)

# 膨らみ続ける社会保障費の抑制

社会保障給付費は増加の一途



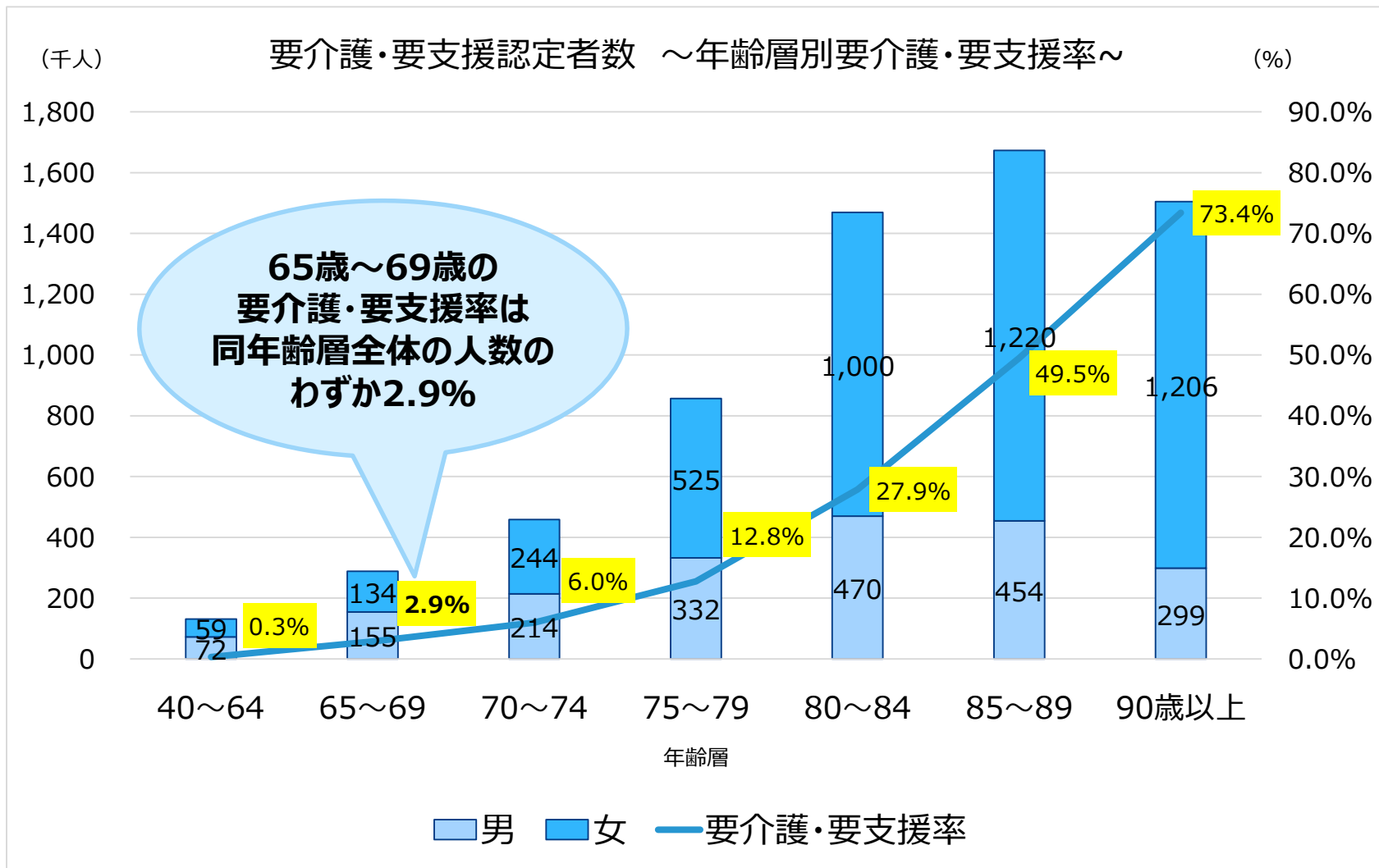
医療・介護の給付抑制へ

平成30年 医療・介護  
ダブル改定



法改正への対策が急務

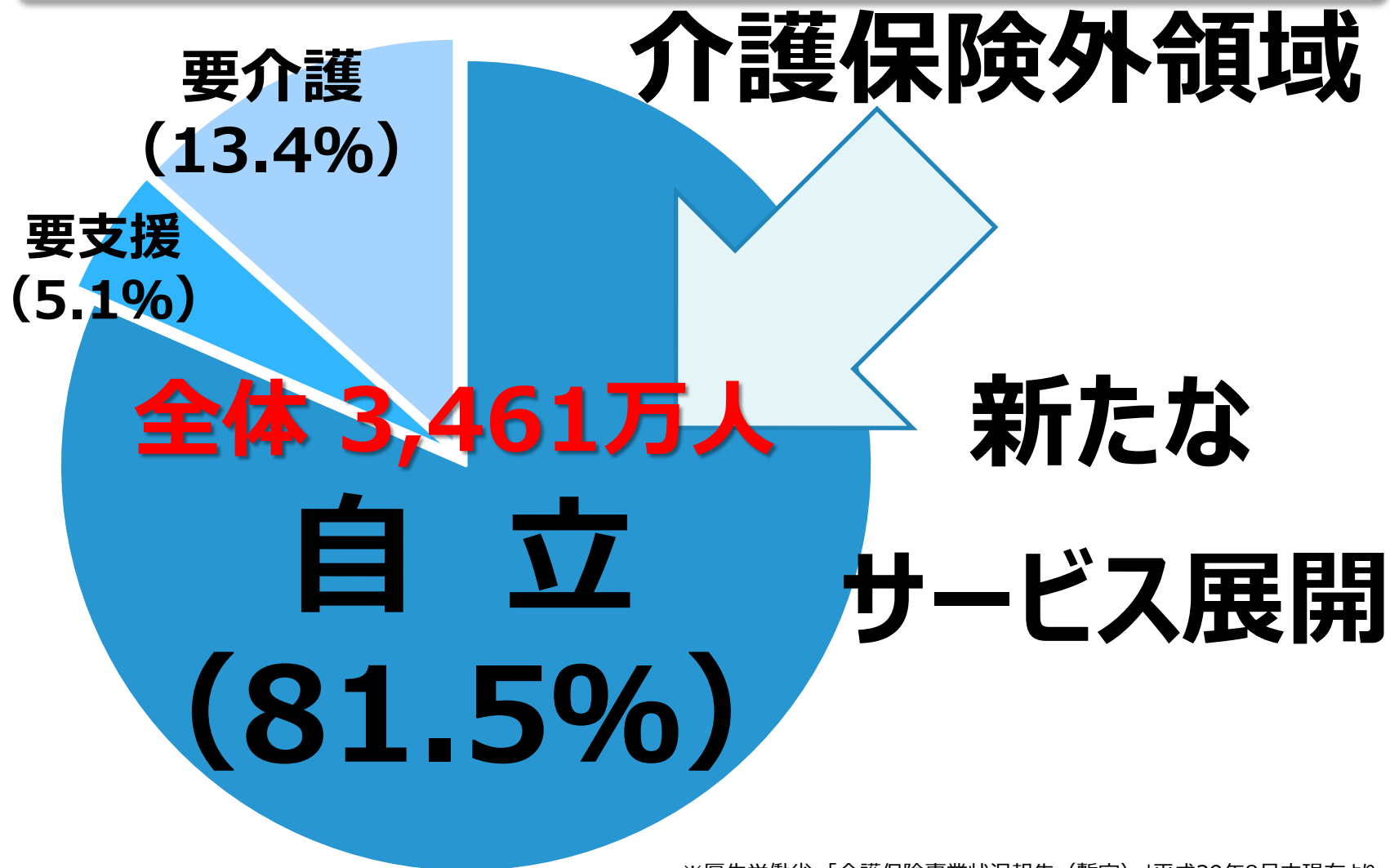
※内閣府「社会保障の給付と負担の現状（2016年度予算ベース）」より



※介護保険事業状況報告（暫定）平成29年8月分より  
 ※総務省統計局人口推計 平成29年8月報より

# 介護保険外領域の拡大

既存サービスの底上げと新たなサービスの展開によって、業績向上を目指す



※厚生労働省「介護保険事業状況報告（暫定）」平成29年8月末現在より





## 新たな取組み

---



**新ブランドの展開**

**リタイアメントコミュニティ事業**

**多種多様な自立支援**

**飲食事業**

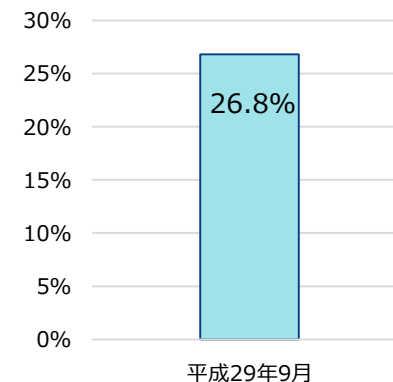
# 新ブランド 交樂 – MAZERAN –



## ■ 住宅型有料老人ホーム（平成29年3月1日OPEN）



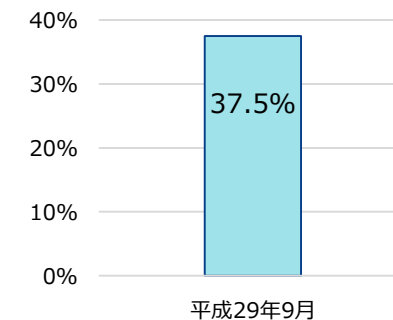
入居率



## ■ 介護付有料老人ホーム（平成29年4月1日OPEN）



入居率



- 入居者の状況は計画を下回っているが、入居のペースは急速に高まっている  
引き続き営業施策等を見直し、入居の促進に努める

# リゾート×リタイアメント



## ユニマツトグループによる 高付加価値CCRC

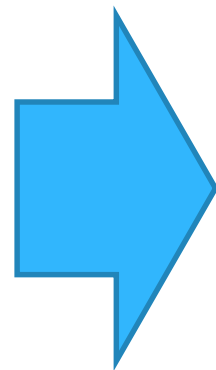
※CCRC (Continuing Care Retirement Community) = 高齢者が健康な段階で入居し、終身を暮らすことができる生活共同体

## お客様の夢を本気で叶えるサービスの確立

ひとりで歩けない  
(車椅子)

自分で食べられない  
(胃ろう)

おむつ



自分で歩ける  
ようになる

自分で食べられる  
ようになる

トイレで排泄できる  
ようになる

## 自立支援介護を本格始動

## 多種多様な自立支援Ⅱ

サイバーダイン社と『重介護ゼロ®社会』実現に向けて業務提携  
～「HAL® 腰タイプ 自立支援用」を国内外の介護施設で初めて本格導入～

(株)ユニマツ  
リタイアメント・コミュニティ

自立支援介護の  
ノウハウ



×



CYBERDYNE

革新的  
サイバニクス技術

CYBERDYNE(株)

# 飲食事業 ユニマツキャラバン始動

飲食事業 (株)ユニマツキャラバンを平成29年10月1日付で子会社化



ユニマツ リタイアメントコミュニティ



ユニマツキャラバン

100%子会社

## <コーヒー豆加工販売事業>



## <レストラン事業>

IL PINOLO



## <カフェ事業>



## <スイーツ事業>





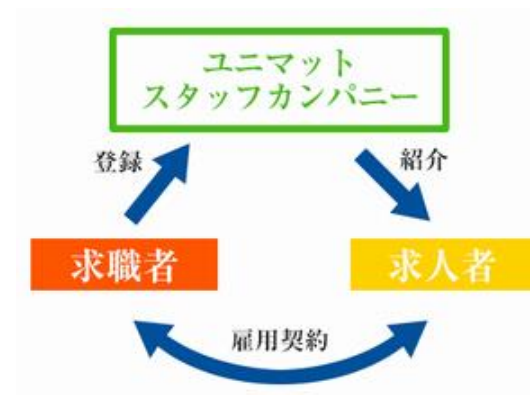
## 安心して働ける環境への取組み

---



## 社員が安心して働ける環境へ

医療・介護系人材紹介事業 ユニマツ スタッフカンパニーからの人材確保



60歳未満の希望者全員を平成29年10月1日より無期雇用化へ

## 労働契約法改正を半年間前倒し

**当社独自**

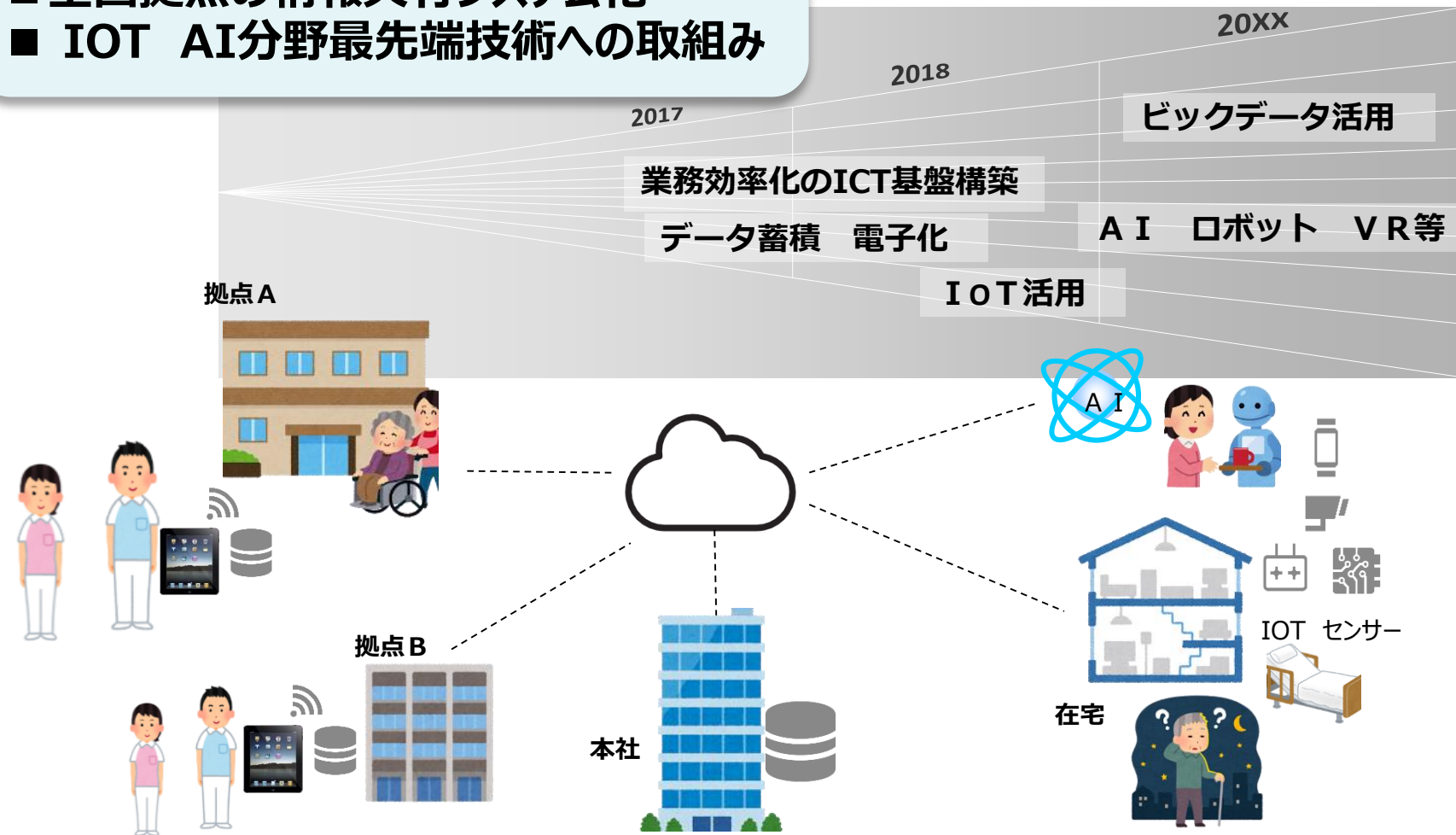
## 通算労働期間5年の条件は設けない

## 入社時から無期雇用の選択が可能

# 介護記録のシステム化導入

## ICT化推進

- 介護記録のシステム化
- 全国拠点の情報共有システム化
- IOT AI分野最先端技術への取組み





# 平成30年3月期 通期業績見通し

---

# 平成30年3月期 通期業績見通し（連結）

（単位：百万円）

	平成30年3月期 通期業績予想 (11.10修正)	平成29年3月期 通期実績	増減額	増減率
売上高	<b>48,900</b>	44,243	4,656	+ 10.5%
営業利益	<b>2,450</b>	2,114	335	+ 15.9%
経常利益	<b>1,810</b>	1,621	188	+ 11.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>2,050</b>	1,341	708	+ 52.8%
営業利益率	<b>5.0%</b>	4.8%	0.2 ポイント	—
経常利益率	<b>3.7%</b>	3.7%	0.0 ポイント	—
当期純利益率	<b>4.2%</b>	3.0%	1.2 ポイント	—

# 平成30年3月期 通期業績見通し（セグメント別）

	平成30年3月期 通期業績予想	平成29年3月期 通期実績	増減額	増減率
売上高	<b>48,900</b>	44,243	4,656	+ 10.5%
介護事業	<b>44,759</b>	43,920	838	+ 1.9%
飲食事業	<b>3,850</b>	—	3,850	—
その他	<b>289</b>	322	△ 32	△10.1%
営業利益	<b>2,450</b>	2,114	335	+ 15.9%
介護事業	<b>3,706</b>	3,339	367	+ 11.0%
飲食事業	<b>103</b>	—	103	—
その他	<b>99</b>	70	29	+ 42.3%
全社費用	△ <b>1,459</b>	△ 1,295	△ 164	+ 12.7%

※飲食事業は下期から連結に追加

※その他事業は高齢者向けマンション事業、不動産賃貸事業、有料職業紹介事業

# 配当予想

## 配当の基本方針

株主の皆様への利益還元を行うことを重要な経営目標の一つと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績等を勘案しながら、安定した配当を実施していくことを基本方針としております。

決算期	一株当たりの配当金			配当性向
	第2四半期	期末	年間合計	
平成30年3月期	—	14円 (予想)	14円 (予想)	7.2% (予想)
平成29年3月期	—	14円	14円	8.4%
平成28年3月期	—	14円	14円	—
平成27年3月期	—	14円	14円	23.4%

## 平成29年10月～平成30年3月 開設予定

開設期	No.	事業所名	所在地	OPEN	サービス
第3四半期	1	相模原古淵GH	神奈川県	H29.11.1	GH
第4四半期	2	野木CC	栃木県	H30.2.1	DS、SS

【事業所名】 GH：グループホームそよ風 CC：ケアセンターそよ風  
【サービス内容】 DS：デイサービス SS：ショートステイ GH：グループホーム

平成30年3月期 新規開設予定事業所 合計6拠点7事業所



# お知らせ

---



# プレスリリース

## ■ レストラン事業等の子会社化／ユニマツキャラバン営業開始

株式会社ユニマツプレシャスのレストラン事業の一部及びコーヒー豆製造販売・喫茶店運営事業ならびに同社の100%子会社である株式会社ベルグの四月の洋菓子の製造・販売事業を子会社化いたしました。(平成29年8月10日付、9月20日、10月2日付プレスリリース参照)



## ■ CYBERDYNE社「HAL®腰タイプ自立支援用」を本格導入

足腰の弱った方などの体幹・下肢機能の維持を向上する目的とするCYBERDYNE社の新製品「HAL®腰タイプ自立支援用」導入をはじめとする『重介護ゼロ®社会』実現に向けた業務提携をいたしました。(平成29年10月3日付プレスリリース参照)



## ■ 業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年5月12日に公表しました平成30年3月期第2四半期累計期間の業績予想及び平成30年3月期通期の業績予想の修正をいたしました。(平成29年11月10日付プレスリリース参照)

# 会社概要

商号	株式会社ユニマット リタイアメント・コミュニティ 英文名：UNIMAT Retirement Community Co.,Ltd.
代表者	代表取締役社長 中川 清彦
本社所在地	〒107-0061 東京都港区北青山2-7-13 プラセオ青山ビル TEL 03-5413-8228 (大代表) / FAX 03-5413-8227
ホームページ	<a href="http://www.unimat-rc.co.jp/">http://www.unimat-rc.co.jp/</a>
設立	昭和50年6月
資本金	1 億円 (平成29年9月30日現在)
事業内容	介護事業                              デイサービス、ショートステイ、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、居宅介護支援、訪問介護等の運営 不動産事業                             グループ保有資源を活かしたリゾート型の不動産事業  その他介護関連事業
従業員数	8,572名 (平成29年9月30日現在) ※契約社員・パート職員などを含む
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ スタンダード (証券コード：9707)
決算期	3月



### 本資料およびIRに関するお問合せ

株式会社ユニマツ リタイアメント・コミュニティ 総務部 IR担当  
TEL : 03-5413-8228 / E-mail : ir@unimat-rc.co.jp

**ご注意** : 本資料に記載されている当社の将来に関する見通しは、本資料作成時点で入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいており、不確定なリスク要因を含んでおります。従って、実際の結果は様々な要因によって見通しと大きく異なる可能性があることをご了承ください。